

令和6年度福島県農業総合センター農業短期大学校学校評価表

重点目標	現状と課題	評価項目	主担当	具体的方策及び評価指標	自己評価		
					経過・達成状況	評価	次年度の課題と改善方策
Ⅲ 本県農業の復興を支える多様な担い手の育成	<p>【視点1】 経営基盤が十分な農家出身の学生が少なく、基盤が弱小な兼業農家や非農家出身の学生が多いことから、例年、自家への就農率は低い傾向にある。 このため、法人等への就農を目指す学生を増加させるため、機会をとらえて情報提供するとともに、関係機関と連携の下、学生の就農意欲の高揚を図り、教育目標である「実践的な技術力と優れた経営力を備えた地域のリーダーとなる農業者を育成する」の達成を目指す。 また、農業関連産業を含む企業等への就業を目指す学生の指導は、進路指導委員会を中心に、その他教務職員と連動した指導体制を構築し、学生の進路実現を目指す必要がある。</p>	(1) 本県農業の復興を担う新規就農者の育成と進路指導の強化	進路対策委員会	<p>① 農林事務所や農業会議等との連携による適切な就農情報の提供と進路指導対策の強化</p> <p>〔目標指数〕 ○進路確定率：100% ○就農者率：45% ○進路希望調査（1学年）：1回 ○進路に関する個別面談の実施：3回 " 三者面談の実施：2回 ○合同企業説明会等への参加：延べ190人 ○模擬面接指導等：延べ240回</p>			
		(2) 農業関連産業に関する情報収集の強化	進路対策委員会	<p>① 農業関連産業を含む企業等情報の収集と学生の就職活動の意欲の高揚 ○インターンシップ参加：延べ50人 ○企業情報等の収集と提供：延べ50回</p>			
		(3) ハローワーク等、就活支援専門家集団との連携強化	進路対策委員会	<p>① 1学年次からのきめ細やかな社会教育と進路指導による学生の就業意識の定着 ○専門家集団による講座の実施：11回</p>			